

第15回山形県障がい者スポーツ大会水泳競技実施要領

1 日 時 平成28年 5月22日(日)

受付開始	8時30分	(屋内プール正面入口)
ウォームアップ	9時00分	(屋内プール)
開始式	9時45分	(屋内プール)
競技開始	10時15分	(屋内プール)
競技終了	14時00分	(屋内プール)

2 会 場

山形県総合運動公園 屋内プール

天童市山王1-1 電話：023-655-5900

3 主 管 (運営協力)

天童市水泳連盟 山形市水泳連盟

4 競技規則

平成28年度(公財)日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会規則」、(公財)日本水泳連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

5 参加対象者

- ・身体障がい者(肢体障がい、視覚障がい、聴覚障がい)
- ・知的障がい者

6 競技方法

(1) 選手紹介

競技前の選手紹介の際は、椅子から立って(車いす使用者及び立つことが不自由な選手は座ったまま片手を上げて)紹介を受けること。

(2) スタートについて

ア) 自由形、平泳ぎ、バタフライ、200m混合リレーのスタートは、台上、台の横からの飛込み、または水中スタートを選択できる。ただし、次の障がい区分の者は身体的理由により水中スタートをしなくてはならない。

- ① 肢体Ⅰ：両下腿切断、両下肢不完全、両大腿切断、片大腿・片下腿切断、両下肢完全、多肢切断、片上肢完全・片下肢完全、両上肢不完全・両下肢不完全(障がい区分8、9、11)
- ② 肢体Ⅱ：第7頸髄まで残存、第8頸髄まで残存、下肢麻痺で座位バランスなし(障がい区分13、14、15)
- ③ 肢体Ⅲ：四肢麻痺(車いす常用)、上肢に著しい不随意運動を伴う走不能、両下肢麻痺、上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能、片側障害で片上肢

機能全廃（障がい区分17、18、19）

④肢体Ⅳ：浮具使用（障がい区分22）

- イ) 自由形、平泳ぎ、バタフライの水中スタートは、少なくとも片手でスターティンググリップを含むプールの壁をつかんだ状態からスタートしなければならない。身体的理由により壁をつかめない場合は、身体の一部がプールの壁と底の両方についていればよい。また、審判長の判断により安全な用具の使用も認められる。
- ウ) 背泳ぎ、混合リレー、混合メドレーリレーのスタートにおいて、身体的理由により両方の手でスターティンググリップをつかめない者は、少なくとも片手でスターティンググリップを含むプールの壁をつかみ、壁側を向いた状態からスタートしなければならない。壁をつかめない場合は、身体の一部がプールの壁と底の両方についていればよい。また、審判長の判断により安全な用具の使用も認められる。
- エ) 次の障がい区分の者は、スタートの際、必要であれば競技役員または許可された者が、身体を支えるだけのために補助をしてもよい。この場合、競技者を支えている者はスタートの勢いを与えてはならない。

①肢体Ⅰ：多肢切断、片上肢完全・片下肢完全、両上肢不完全・両下肢不完全（障がい区分11）

②肢体Ⅱ：第7頸髄まで残存（障がい区分13）

③肢体Ⅲ：四肢麻痺（車いす常用）、上肢に著しい不随意運動を伴う走不能、片側障害で片上肢機能全廃（障がい区分17、19）

④肢体Ⅳ：浮具使用（障がい区分22）

- オ) 聴覚障がい者のスタートでは、出発合図員は全競技者から見やすい位置で、言葉とゼスチャーを併用して合図する。

(3) 競技

- ア) 義肢、装具、足ひれや手につけるパドルなどの使用は認めない。
- イ) 競技中にプールの底に立つこと、ロープを握ることは認める。
- ウ) 視覚障がいの障がい区分23の者及び同等の障がい重複する者のゴールとターンでは、競技役員または許可された者が安全な棒などを使って身体をたたいて合図しなければならない。障がい区分24と25の者に行う場合は許可を得なければならない。
- エ) 浮具使用の浮具とは、浮力を補助するためのスイミングヘルパーやアームヘルパーなどをいう。
- オ) 自由形、背泳ぎのスタート及び折り返し後の15mを除いて、1ストロークサイクルに1回、身体の一部が水面上に出なければならない。
- カ) 自由形、背泳ぎ、平泳ぎ及びバタフライで、身体障がいによりやむを得ないと認められた場合には、各泳法の規則を緩和することができる。
- キ) 200mリレー及び200mメドレーリレーに出場するリレーメンバーは、男女混合となるように編成されていなければならない。

(4) 介助

- ① 次にあげる選手の介助については、原則として競技場への入場を許可された者が行う。なお、介助者として入場を希望する者は、参加申し込み時に申し込み、競技役員の指示により入場する。
 - ア) 入退水時の介助
 - イ) スタート時の介助
 - ウ) ゴール・ターン時の合図（視覚障がい者で、ゴールとターン時の合図棒等による合図。このうち障がい区分23の者及び同等の障がい重複する選手のゴールとターンでは、競技規則により合図が義務付けられているため、競技役員または介助員のいずれかが行う。障がい区分24と25の者に対する合図は許可を得て行う。）
- ② ①により難しい選手は競技役員による介助を行うので、参加申し込み時に申し込むこと。
- ③ プールサイドにおけるコーチは禁止する。

(5) 服装

- ① スイミングキャップを着用すること。
- ② 水着はFINA承認水着でなくてもよいが形状（体を覆う範囲）等は次のとおりとする。
 - ア) 男子はへそを超えず、膝までとする。
 - イ) 女子は肩から膝までとする。ただし、首、肩を覆うことはできない。（セパレートの水着も可）
- ③ 水着の重ね着は禁止。着用できる水着は1枚とする。ただし、インナー用ショーツ（サポーター）女性用インナーパットは認める。

(6) 浮具について

障がいのため浮具が必要な者は、申し込み時に申し出があり、かつ審判長が認めた場合に限り、両腕、首、および腰に浮具を使用してもよい。ただし、浮具は選手が用意しなければならない。

7 誘 導

- ① 会場内での誘導は、競技役員及び競技補助員が行う。なお、許可を受けた介助者のある場合は、競技役員の指示に従う。
- ② 競技終了後、選手は競技役員及び競技補助員の誘導により、選手解散所にて出迎えの者に引き継ぐ。

8 計 時

計時は、手動計時を使用する。

9 出発合図

出発合図は、電子音装置またはピストルを使用する。

10 招 集

- (1) 招集は、水泳競技会場内招集所で行う。
- (2) 招集は、競技開始30分前から開始し、15分前に完了する。
- (3) 招集完了時刻に遅れた選手は、棄権したものとみなし、出場できない。
- (4) 前レースの表彰終了時刻から次レースの招集開始時刻まで10分以内の選手については、当該選手の代理者がその旨を招集所に申し出、代行することができる。

11 表 彰

- (1) 各出場選手には、記録証を授与する。
- (2) 表彰は、次の組の競技終了後直ちに行う。

12 種目順

別表の種目順により競技を行うので、参加申し込み時に参考にすること。ただし、編成上やむを得ず種目順を変更することがある。

13 その他注意事項

- (1) 事故防止には十分注意すること。
- (2) プールサイドにおけるコーチ及び介助者の指示、応援等を禁止する。
- (3) 会場内の秩序については、競技役員の指示に従うこと。
- (4) 貴重品については各自責任を持って管理すること。
- (5) 更衣室とプールサイド以外では水着、裸足のまま走り回らないこと。
- (6) 競技場への飲食物の持ち込みを禁止する。更衣室では水分補給は認めるが、それ以外の飲食については禁止する。
- (7) 選手の休憩は指定された場所を利用すること。
- (8) 写真撮影をする場合は、事前に大会事務局へ申請し、許可証をもらうこと。

14 出場申込方法

- (1) 本部門に出場を希望する者は、別紙「競技種目表」に示されている競技種目のうちから出場種目（2種目まで可能）を選び、出場申込書（様式1）により平成28年4月22日（金）厳守で郵送またはメールでの申し込むこと。（FAXでの申し込みは一切受け付けない。）
- (2) 各選手とも、自身の障がい区分に該当しない種目には出場できないものとする。
- (3) 参加費は無料とする。
- (4) リレーメンバーは、個人競技出場申込者の中から選出し、男女混合となるように編成し申し込む（様式2）こと。
- (5) 出場申込書の提出について
 - ① 特別支援学校・中学校・高等学校在校生は、在籍する学校が一括して事務局へ申し込むこと。

- ② グループホーム・福祉ホーム等入居者、身体・知的障がい者施設・事業所への入所・通所者は、当該施設・事業所から事務局へ申し込むこと。
- ③ 在宅の障がい者で障がい福祉団体、スポーツ競技団体等に参加している場合は、当該団体を通して事務局へ申し込むこと。
- ④ 上記以外の者は、市町村福祉課を通して申し込むこと。

15 その他

(1) 傷害保険の加入について

競技別大会への出場選手および引率者などは、各人にて傷害保険に必ず加入することとし、主催者側では一切責任を負わないものとする。

(2) 大会における提出書類の様式について

関係機関への案内発送と同時に当協会公式ホームページより閲覧及びダウンロードを解禁する。必要部数等について参加者各位でプリントアウトを行い、水泳競技実施要項記載の締め切り日（4月22日）厳守で大会事務局へ申し込むこと。

(3) 大会競技順及び競技別プログラムについて

大会参加者の競技順は各大会の開催10日前をめぐり、プログラムは5日前をめぐり当協会ホームページよりダウンロードを解禁する。参加者各位でプリントアウトを行い、受付開始時刻に遅れることの無いよう確認すること。

また、当日競技場にてプログラムの有料販売を行う。

(4) 全国大会参加希望について

全国障害者スポーツ大会の参加希望について、出場申込書内（様式1-1～5）の回答欄に希望の有無を明確にすること。当該大会に係る選手選考は参加希望者の中から選考委員会の選考を経て、県が決定する。（別紙、資料参照）

【連絡先】

山形県障がい者スポーツ協会

担当：川田・渡辺

〒990-2231

山形市大字大森385

TEL/FAX 023-686-4084

メールアドレス info@yamagata-adapted.jp

ホームページ：<http://www.yamagata-adapted.jp/>

種 目 表

- ① 2 5 m 自由形
- ② 2 5 m 平泳ぎ
- ③ 2 5 m 背泳ぎ
- ④ 2 5 m バタフライ
- ⑤ 5 0 m 自由形
- ⑥ 5 0 m 平泳ぎ
- ⑦ 5 0 m 背泳ぎ
- ⑧ 5 0 m バタフライ
- ⑨ 2 0 0 m 混合リレー
- ⑩ 2 0 0 m 混合メドレーリレー

※ ⑨・⑩につまましては知的区分のみとなっております。